

「神奈川県営水道事業経営計画」の取組状況について（令和6年度）

1 趣旨

県営水道事業では、令和6年度から「神奈川県営水道事業経営計画」（以下「経営計画」という。）に基づき取組を進めており、令和6年度の取組状況は次のとおりです。

2 経営計画の概要と取組状況

厳しさを増す経営環境において持続可能な県営水道とするため、基本理念として掲げる3つの柱（「安心」・「持続」・「貢献」）のもと、「神奈川県営水道長期構想」（令和6年度から令和35年度）を策定して、30年後の「目指す姿」と「取組の方向性」を示しました。

そして、その実現に向けた中期的な事業実施計画として「神奈川県営水道事業経営計画」を策定し、引き続き安全で良質な水を安定的に供給する使命を果たすため、「取組の方向性」に基づく個別事業を位置付け、事業運営を行っていきます。

(1) 計画期間

5年間〔令和6年度から令和10年度〕

(2) 主要事業の概要と取組状況

ア 「安全で良質な水道」に向けた個別事業

水質検査機器等の適切な保守管理や計画的な更新に加え、新たな水質の課題について、規制強化等の国の動向を注視し、水質検査体制を整備するなど適切に対応いたします。

〔取組状況〕

- ・ P F O S 及び P F O A の専用の検査機器を購入し、検査体制の整備に着手しました。
- ・ P F O S 及び P F O A が水質基準※となった場合に、より効率的な検査方法（直接注入法）が追加可能かどうか、環境省の評価試験に参加しました。

※令和8年4月に水質基準に追加される予定。

イ 「将来にわたり適切に管理された水道」に向けた個別事業

水需要の減少を踏まえた適正な施設規模に向けて、管路等のダウンサイジング、配水池の統廃合及び寒川第2浄水場の廃止に向けた取組を進めます。

また、5事業者と共通する課題の解決に向けて、水道システムの再構築の取組を進めます。

[取組状況]

- ・ 寒川第2浄水場の廃止（令和12年度を目途）に向けた、配水管改良工事やポンプ所の整備等を実施しています。
- ・ 5事業者が目指す「水道システム再構築」の実施に向け、各事業者との調整を行い、令和6年5月に「5事業者の『施設整備計画』」を策定しました。

ウ 「災害・事故にも強い水道」に向けた個別事業

被災時の断水被害を抑え、復旧日数を短くするため、断水の影響が大きい基幹管路や、重要給水施設への供給管路などを優先的に更新し、耐震化を進める、効果に着目した「戦略的な管路整備」に取り組むほか、浄水場の浸水対策、火山対策やポンプ所の停電対策を進めます。



[取組状況]

- ・ 基幹管路の耐震適合率について、計画目標の75%に向けて、19路線で基幹管路の耐震化を進めています（P5グラフ）。

※基幹管路の工事については、予定通り工事を発注し進めていますが、一部工事で繰越工事が発生し、その影響で目標値を下回っています。なお、今年度中に繰越工事が完了し、目標値を達成する見込みです。

今後も基幹管路の工事が順調に着工されるよう、引き続き取り組んでまいります。

- ・ 重要給水施設（災害協力病院、避難所等）への供給管路について、計画目標78箇所のうち、12箇所の耐震化が完了しました（P6グラフ）。

- ・ 水道管の漏水調査について、基幹管路や国県道等の配水管は毎年、その他の配水管は隔年で行うことにより計画目標の有効率95%を維持しています。(P7グラフ)



- ・ 寒川浄水場の浸水対策として、電源設備等の浸水対策工事を実施しました。
- ・ 揚水ポンプ所の停電対策として、計画目標 6 か所のうち、1 か所へ移動電源車に対応した設備を導入しました (P9グラフ)。
- ・ 上下水道一体での耐震化を推進する国からの要請に基づき、関係市町と連携して令和 7 年 1 月に「神奈川県営水道上下水道耐震化計画」を策定し、供給管路の耐震化が必要な重要給水施設を選定しました。

エ 「環境にやさしい水道」に向けた個別事業

脱炭素社会の実現に向けて、施設更新に合わせて、ポンプ設備等の省エネルギー化に取り組むとともに、工事により発生する土砂等の削減や再生資源化を図ります。

[取組状況]

- ・ 老朽した空調設備について、6 箇所ですべて省エネルギー機器への更新を行いました。
- ・ 寒川浄水場において使用するポンプ設備等の電力について、県営電気事業の水力発電の電力を活用することにより、浄水場におけるCO₂排出量の削減を図りました。
- ・ 浄水場の浄水処理工程で発生する浄水発生土を、園芸用土等へ100%再生利用しています。

オ 「経営基盤の確立された水道」に向けた個別事業

ICTをはじめとする技術を活用し、工事管理業務の効率化や、給水装置工事申請手続きのオンライン化を進めます。

また、水道料金水準等の定期的な検証や、交付金の確保等により、財政の健全性を高めるとともに、持続可能な組織体制を構築します。

[取組状況]

- ・ 工事の受発注者間で場所にとらわれず効率的に調整を実施す

るための「情報共有システム」の普及に向け、同システムの使用を条件として一部の工事を発注しました。

- ・ 将来にわたる持続可能な水道の実現に向けて、大規模地震に備えた水道施設整備等を着実に進めるため、令和6年10月に水道料金体系の見直しを含む段階的な料金改定を実施しました。

【主な変更点】

- ・ 用途別料金体系から口径別料金体系への見直し
- ・ 口径別に基本水量と基本料金を設定
- ・ 令和6年10月に16%※、令和7年10月に19%※、令和8年10月に22%※と激変緩和措置として段階的な料金改定を実施（※ 現行料金との比較による割合）

- ・ 老朽化した施設の大量更新や激甚化する自然災害への対応など、直面する多くの課題に対応するため、令和7年2月に「県営水道出先組織再編計画」を策定しました。

カ 「信頼に応える水道」に向けた個別事業

県営水道への信頼を高めるため、わかりやすい広報による情報発信やお客様ニーズの把握に取り組みます。

また、地域社会や国際社会へ貢献するため、箱根地区水道事業包括委託（第3期）における「公民連携かながわモデル」の本格運用や海外への技術協力などを進めます。

〔取組状況〕

- ・ 企業庁LINE公式アカウントにより、突発断水等の緊急情報等を迅速に情報発信しています。
- ・ VRなどのデジタル技術を活用して場所にとらわれない広報を進めることを目的に、浄水場見学を疑似体験できる動画「バーチャル浄水場」を公開しました。
- ・ これまでの取組で構築した「公民連携かながわモデル」を本格運用するため、2024（令和6）年度から10年間の「箱根地区水道事業包括委託（第3期）」を開始しました。
- ・ ベトナムランソン省・フンイエン省からの研修生を受け入れるとともに、新たにフンイエン省と「水道分野における技術協力に関する覚書」を締結しました。



水道事業経営計画 取組状況個票

観 点： 将来にわたり適切に管理された水道

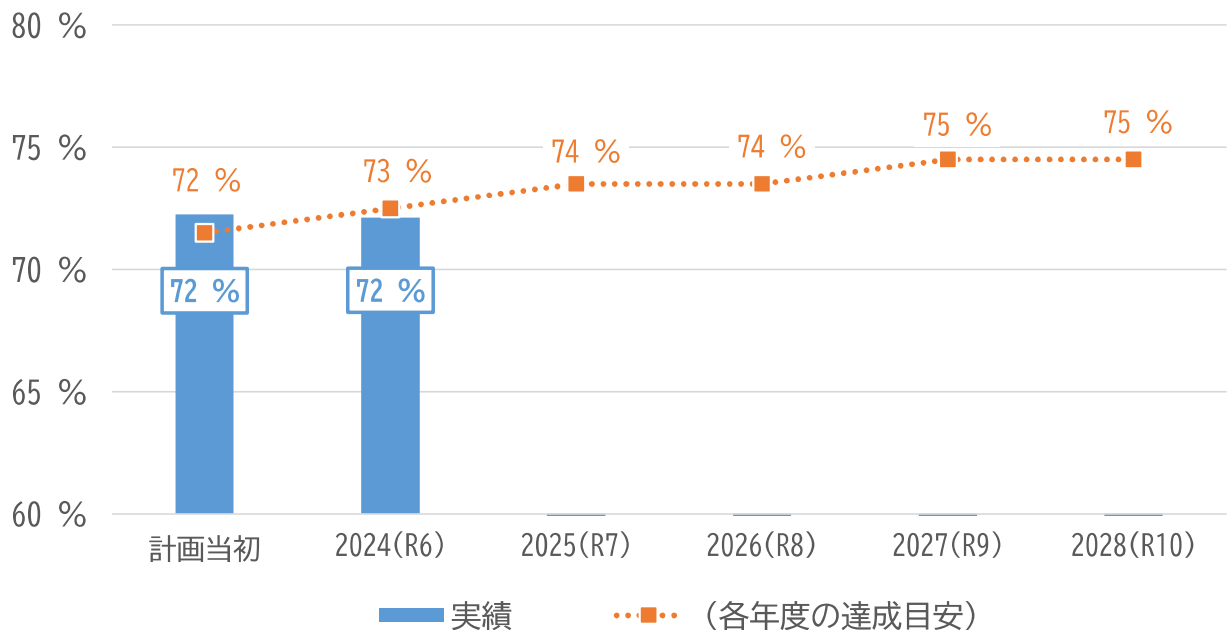
目指す姿： 施設が適切に維持管理され、計画的に更新されています

事 業 名： 戦略的な管路整備（管路更新）

目 標： 基幹管路の耐震適合率を「72%」から「75%」に高める

進捗状況	計画当初	2024(R6) 決算値	2025(R7) 計画値	2026(R8) 計画値	2027(R9) 計画値	2028(R10) 計画値
耐震適合率	72 %	72 %				
（各年度の達成目安）	72 %	73 %	74 %	74 %	75 %	75 %
判定		未達成				
新たに工事に着手した路線数	—	0 路線				
（策定当初の実施予定）	—	0 路線				12 路線
新たに布設工事を行った延長	—	5.6 km				
（策定当初の実施予定）	—	6.5 km	13.8 km	21.2 km	29.1 km	36.0 km

基幹管路の耐震適合率



水道事業経営計画 取組状況個票

観 点 : 災害・事故にも強い水道

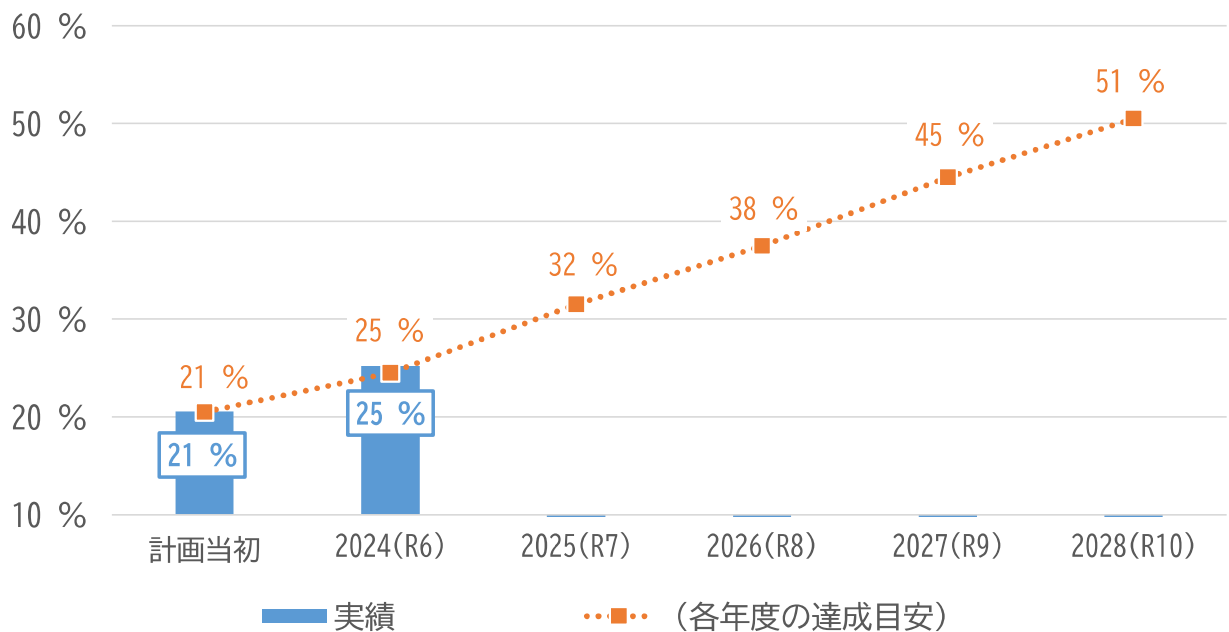
目指す姿 : 大規模地震発生時においても、基幹施設の被害を最小限に抑える対策がなされています

事 業 名 : 戦略的な管路整備（耐震化）

目 標 : 供給管路が耐震化された重要給水施設を「５３か所（２１％）」から「１３１か所（５１％）」に増やす

進捗状況	計画当初	2024(R6) 決算値	2025(R7) 計画値	2026(R8) 計画値	2027(R9) 計画値	2028(R10) 計画値
重要給水施設の数	258 か所	258 か所	258 か所	258 か所	258 か所	258 か所
うち、供給管路が耐震化された重要給水施設の数	53 か所	65 か所				
（各年度の達成目安）	53 か所	65 か所	83 か所	97 か所	116 か所	131 か所
供給管路が耐震化された重要給水施設の割合	21 %	25 %				
（各年度の達成目安）	21 %	25 %	32 %	38 %	45 %	51 %
判定		達成				

供給管路が耐震化された重要給水施設の割合



水道事業経営計画 取組状況個票

観 点 : 災害・事故にも強い水道

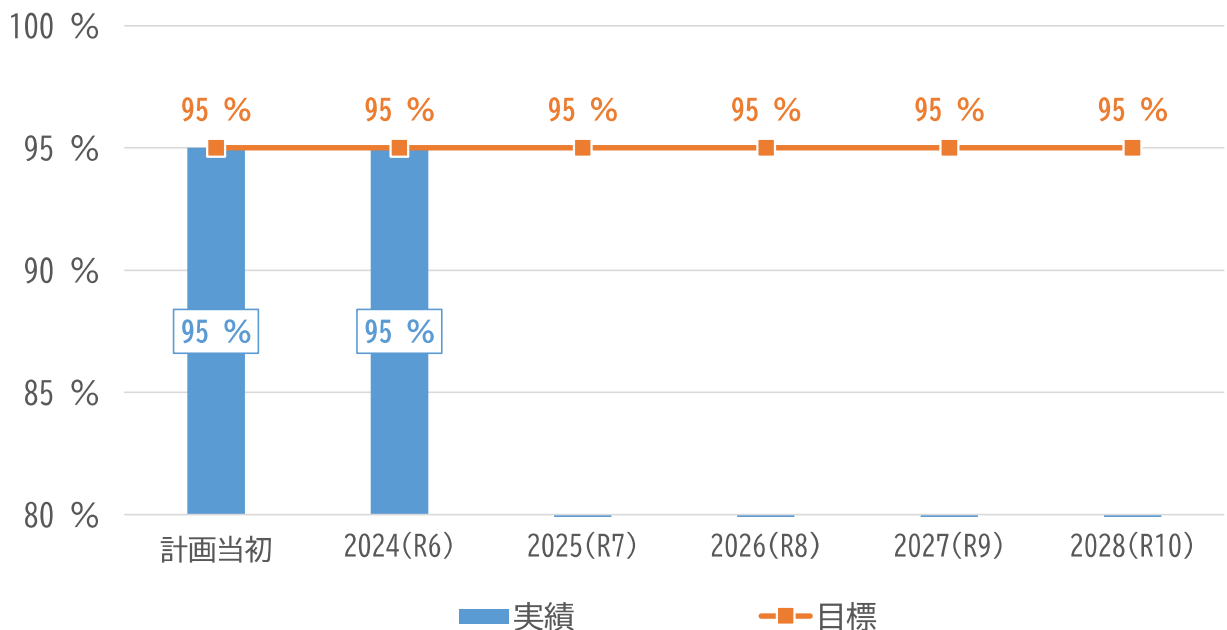
目指す姿 : ストレスを感じることがなく生活が送れるよう、安定給水が継続されています

事 業 名 : 効果的な漏水対策

目 標 : 漏水の有効率を毎年度「95 %」以上とし、有効率の維持・向上に取り組む

進捗状況	計画当初	2024(R6) 決算値	2025(R7) 計画値	2026(R8) 計画値	2027(R9) 計画値	2028(R10) 計画値
漏水の有効率	95 %	95 %				
(各年度の達成目安)	95 %	95 %	95 %	95 %	95 %	95 %
判定		達成				

漏水の有効率



水道事業経営計画 取組状況個票

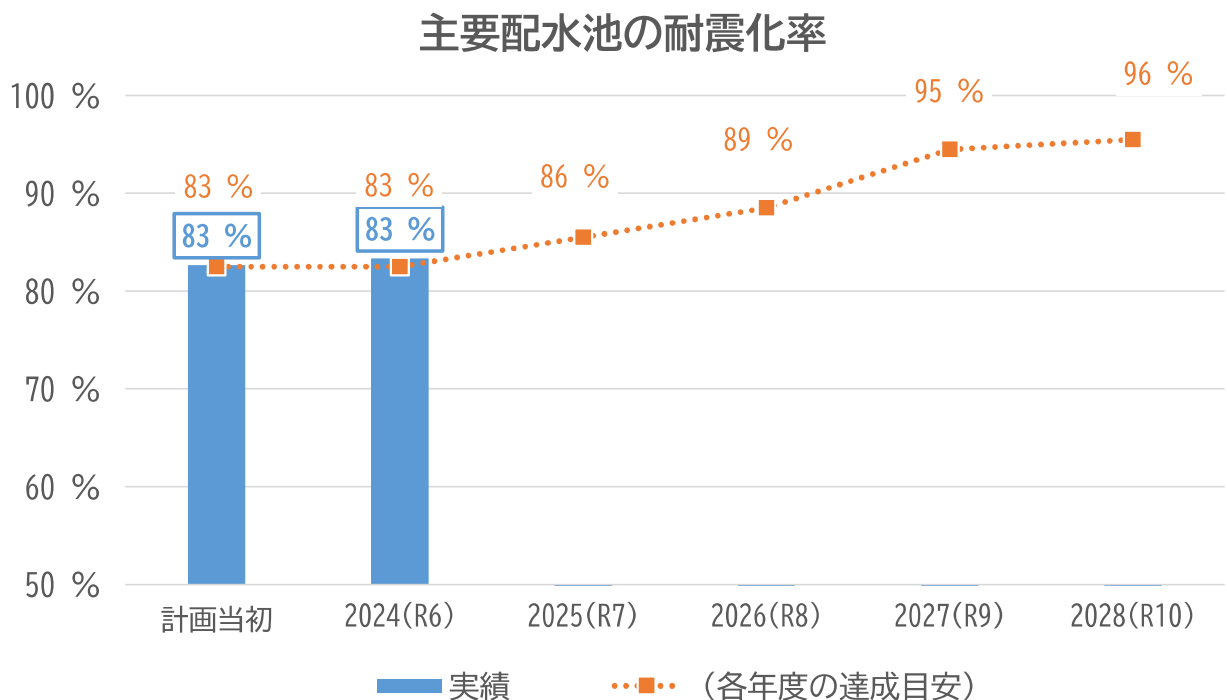
観 点 : 災害・事故にも強い水道

目指す姿 : 大規模地震発生時においても、基幹施設の被害を最小限に抑える対策がなされています

事 業 名 : 配水池等の耐震化

目 標 : 主要配水池（一次配水池及び災害用指定配水池）の耐震化率を「83%」から「96%」に高める

進捗状況	計画当初	2024(R6) 決算値	2025(R7) 計画値	2026(R8) 計画値	2027(R9) 計画値	2028(R10) 計画値
耐震化率	83 %	83 %				
(各年度の達成目安)	83 %	83 %	86 %	89 %	95 %	96 %
判定		達成				



水道事業経営計画 取組状況個票

観 点： 災害・事故にも強い水道

目指す姿： 激甚化する様々な災害・事故に対し、被災した場合にも迅速に対応できる対策がなされています

事 業 名： 揚水ポンプ所の停電対策

目 標： 停電対策を実施した揚水ポンプ所の数を「12か所」から「18か所」に増やす

進捗状況	計画当初	2024(R6) 決算値	2025(R7) 計画値	2026(R8) 計画値	2027(R9) 計画値	2028(R10) 計画値
停電対策を実施した数	12か所	13か所				
(各年度の達成目安)	12か所	13か所	14か所	16か所	16か所	18か所
判定		達成				

停電対策を実施した揚水ポンプ所の数

